

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和6年11月15日(2024.11.15)

【公開番号】特開2023-57784(P2023-57784A)
【公開日】令和5年4月24日(2023.4.24)
【年通号数】公開公報(特許)2023-076
【出願番号】特願2021-167451(P2021-167451)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0
A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】
【提出日】令和6年11月7日(2024.11.7)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

20

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
可動体と、
演出制御手段と、
可動体制御手段と、を備え、
前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認
するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、
前記演出制御手段は、特定の可変表示パターンに基づく可変表示中において、遊技者に動
作を促す動作促進演出を行うことが可能であり、
前記特定の可変表示パターンは、
前記動作促進演出が実行されるまでの第1パートと、
前記第1パートの後に実行され、前記動作促進演出の結果が報知される第2パートと、
を含んで構成され、
前記可動体制御手段は、
前記可動体を第1期間動作させる第1動作制御パターンと、前記可動体を前記第1期間よ
りも短い第2期間動作させる第2動作制御パターンと、で前記確認動作制御を行うことが
可能であり、
前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示が開始される前の可変表示の終了直前に電
断が発生し、その後、電源投入がされた場合、前記特定の可変表示パターンに基づく可変
表示の実行中において前記第2動作制御パターンで前記確認動作制御を行って前記第2パ
ートが開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を行う
ことが可能であり、
電源投入がされたときに初期化処理を伴う第1の場合と、電源投入がされたときに初期化
処理を伴わない第2の場合とで、デモンストレーション表示を表示可能であり、
前記可動体制御手段は、前記第1の場合と前記第2の場合の何れであっても、デモンスト
レーション表示が開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の
制御を行うことが可能であり、
電源投入がされたときに、特定識別情報の可変表示の結果を示す複数の発光手段の制御で

30

40

50

ある特定識別情報発光制御を行うことが可能な遊技制御手段をさらに備え、
前記可動体制御手段は、前記特定識別情報発光制御が開始された後に前記確認動作制御を
開始することが可能であり、
可変表示中に前記可動体を用いた可動体演出を実行可能であるとともに、該可動体演出に
対応したエフェクト表示を表示可能であり、
前記確認動作制御が行われているときに前記可動体演出を実行する可変表示が開始される
場合、該確認動作制御を継続し、該確認動作制御中において前記可動体演出を制限して前
記エフェクト表示を表示することが可能であり、
前記可動体には発光手段が設けられ、
遊技者の調整操作に基づいて前記発光手段の輝度を変更可能であり、
前記確認動作制御中において前記発光手段を特定態様とする特定発光制御を実行可能であ
り、
前記調整操作が行われても、前記特定発光制御中の前記発光手段の輝度を変更しない、

10

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

20

この種の遊技機において、電源が投入されたときや停電が生じた後に復旧したときに、可動体を演出動作と同様に動作させる初期動作（ロングイニシャル動作）や、可動体を演出動作の一部を省略して動作させる初期動作（ショートイニシャル動作）を実行可能なものがある（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

30

【特許文献1】特開2015-113217号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

特許文献1の機能や構成を有する遊技機において、商品性を高める余地があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

40

請求項1に記載の遊技機は、
可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
可動体と、
演出制御手段と、
可動体制御手段と、を備え、
前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認

50

するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、
前記演出制御手段は、特定の可変表示パターンに基づく可変表示中において、遊技者に動作を促す動作促進演出を行うことが可能であり、
前記特定の可変表示パターンは、
前記動作促進演出が実行されるまでの第1パートと、
前記第1パートの後に実行され、前記動作促進演出の結果が報知される第2パートと、
を含んで構成され、
前記可動体制御手段は、
前記可動体を第1期間動作させる第1動作制御パターンと、前記可動体を前記第1期間よりも短い第2期間動作させる第2動作制御パターンと、で前記確認動作制御を行うことが可能であり、
前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示が開始される前の可変表示の終了直前に電断が発生し、その後、電源投入がされた場合、前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示の実行中において前記第2動作制御パターンで前記確認動作制御を行って前記第2パートが開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を行うことが可能であり、
電源投入がされたときに初期化処理を伴う第1の場合と、電源投入がされたときに初期化処理を伴わない第2の場合とで、デモンストレーション表示を表示可能であり、
前記可動体制御手段は、前記第1の場合と前記第2の場合の何れであっても、デモンストレーション表示が開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を行うことが可能であり、
電源投入がされたときに、特定識別情報の可変表示の結果を示す複数の発光手段の制御である特定識別情報発光制御を行うことが可能な遊技制御手段をさらに備え、
前記可動体制御手段は、前記特定識別情報発光制御が開始された後に前記確認動作制御を開始することが可能であり、
可変表示中に前記可動体を用いた可動体演出を実行可能であるとともに、該可動体演出に対応したエフェクト表示を表示可能であり、
前記確認動作制御が行われているときに前記可動体演出を実行する可変表示が開始される場合、該確認動作制御を継続し、該確認動作制御中において前記可動体演出を制限して前記エフェクト表示を表示することが可能であり、
前記可動体には発光手段が設けられ、
遊技者の調整操作に基づいて前記発光手段の輝度を変更可能であり、
前記確認動作制御中において前記発光手段を特定態様とする特定発光制御を実行可能であり、
前記調整操作が行われても、前記特定発光制御中の前記発光手段の輝度を変更しない、
ことを特徴としている。
この特徴によれば、商品性を高めることができる。

10

20

30

40

50